

学 校 教 育 計 画

教育方針	(1)自ら学び、考え、行動する意欲や能力を育てる。 (2)夢や理想に向かってチャレンジする精神や態度を育てる。 (3)自然との共生について認識を育てるとともに、伝統文化を理解し尊重する豊かな知性や教養を育てる。		(4)社会の担い手としての、望ましい勤労観・職業観や社会奉仕の精神を育てる。 (5)ひとり一人の個性を磨き、豊かな道徳性やたくましい精神力・体力を育てる。			
前年度の成果と課題		本年度の重点目標		具体的目標	全体評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣のできていない生徒や学習意欲に欠ける生徒が増え、保護者と連携を取りながら丁寧な指導を行ってきた。指導に手間がかかったものの着実な成果が得られた。</li> <li>生徒数職員数が増え部活動や学校行事等いろいろな部門で活性化している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>多工の伝統を継承した多高の指導体制を確立する。</li> <li>組織を充実させ研究指定を推進する。</li> <li>地域との連携も含め、TAKOUかわら版、ホームページ等を利用した地域への情報発信を充実させる。</li> <li>実習船香川丸の多高版運行計画を策定する。</li> <li>職員の規範意識の高揚と授業内容の充実を図る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程・特別活動・生徒指導の充実。</li> <li>基礎学力の向上と部活動の入部率を向上させ資格取得を奨励する。</li> <li>学力の把握に関する研究指定環境や地域貢献をキーワードに研究指定校事業を推進する。</li> <li>現職教育や授業公開の充実を図る。</li> </ul>	○	
評価項目	本年度の主な活動目標		主な具体的方策		評価	次年度の主な課題
教科指導	普通科	国語	文章から要旨を的確に読み取りまとめる能力の育成	辞書を多用し、読み取る能力の育成		文章を正確に読み取り、要旨を的確にまとめ、それに対する自分の意見をまとめる
		地歴	高校生・社会人として必要な基礎知識の定着	授業やテストを通して基礎学力を定着		基礎知識の徹底・基礎学力の向上
		数学	数学的活動を通して数学への興味関心を高揚	提出物の徹底を図り、添削指導の実施		提出物の徹底をはかり、添削指導の実施と個別指導による基礎学力の向上
		理科	自然科学の基本的な概念や原理・法則の理解	教材の精選と指導内容の充実深化		効果的な実験を増やしたり、宿題や課題を増やし、家庭学習の充実を図る
		保健	実践を通して技能を高め運動の楽しさを体験	実践を通してできる喜びを理解させ体力の伸張		体育：1,2年でも選択の幅の拡大 保健：自らの健康を管理する能力の育成
		芸術	書道：生徒の個性を生かし基礎基本を重視した学習活動 美術：創作の原点はデッサンにあり、制作の積み重ねにより成就感を育成	書道の基本の定着を図り、書写から書道への円滑な移行 資料を充実させ生徒が製作活動に興味を持てるようにする		臨書学習の充実させ、全国コンクールへの出品を目指す 教室の環境を整え表現の幅が更に広がるように展開していく
	専門科	英語	文法事項を中心に基礎学力の定着	提出物や宿題を多く課し、基礎学力の定着		宿題を課し個人指導の機会を増やし基礎学力の定着を図る
		家庭	内容の精選と家庭生活に必要な基礎基本の定着	生徒の実態に即した資料やビデオ教材を利用		体験的学習の内容を工夫し、授業の中に取り入れ、授業の活性化を目指す
		機械	生徒の能力を引き出す指導法の確立	生徒からの授業評価の参考に指導方法の確立		生徒の意欲を引き出すために資格取得やものづくりの内容の精選
		電気	基礎教科に力を入れ2年次の資格試験に全員挑戦	電気に関する資格に挑戦させ自信を持たせる		電気の基礎教科の指導に力を入れ専門に興味を持って取り組めるようにする
専門科	土木	基礎学力の向上と実践的な指導	最新の土木技術を紹介し、きめ細かな指導の徹底		実践的な指導を通して学習に興味関心を持たせ基礎学力の向上を目指す	
	建築	興味を持ち自主的に学習できるよう基礎基本の充実	各種のテストに対し、各自の目標を設定		基礎基本の充実を図り各自の目標を設定させ自主的な学習をさせる	
	技術	実践を通して地域に貢献できる健全な人材の育成	基本的な生活習慣の確立とわかる授業の実施		基本的な生活習慣の確立と分かる授業による基礎・基本を充実させる	
生産	基礎科目に力を入れ学習への意欲の向上	わかる授業を展開し、意識付けに全員検定試験を受験		基礎・基本の充実を図り各自の目標を設定させ自主的に学習をさせる		
学校行事	全学年揃っての学校行事の調整と実施		香川丸、水産科を組み入れた行事の精選と実施			公開展が実施されるので香川丸の運行計画とのすり合わせが必要
教育研究	学校全体で学力の把握に関する研究指定を推進		建築科と電気科で研究授業の実施			研究指定3年目の最後の年度となるので今までのデータを検証しまとめる
生徒指導	保護者との連携、職員一丸で指導体制の継続整備		指導方針に関し保護者と共通理解を図り指導			規律ある学校生活が送れるよう指導体制を整える
	豊かな心の育成をめざした交通安全教育の実践		講演会や実技指導を通した交通安全教育の実施			継続した交通安全教育に取り組む
進路指導	水産科も含め中長期的な視野に立った就職先の開拓		企業開拓のため企業訪問を積極的に実施			中期的な視野に立って求人確保開拓のため企業訪問を積極的に行う
	生徒一人ひとりの適性に応じたきめ細かな進学指導		教科学科と連携により実力テストのあり方を検討			早い時期から進学先の目標を設定させ、コースの人員を確保する
人権・同和教育	様々な人権問題について行動化に繋がる啓発活動		生活に根ざした内容でわかりやすく啓発活動を実施			様々な人権問題について行動化につながる啓発活動を行う
教育相談	支援教育推進委員会の活用と特別支援教育の充実		特別支援の必要な生徒の支援方法の検討			支援教育推進委員会の組織作り
保健指導	健康診断の充実と事後管理の徹底		未治療者の受診の有無の確認と指導			ADEの講習会の実施
特活	部活動	生徒数の増加による部活動の活性化		部活動の加入率をあげる(目標90%)		年度頭書から保護者、担任、科にも協力を依頼し、入部率の向上を図る
	生徒会	生徒に主体性を持たせ、生徒会活動の活性化		生徒自ら行事を再確認し、企画をサポートし活性化		生徒が主体性を持ち、活発に活動を行う。
安全管理	施設設備・情報セキュリティーの推進		定期的な安全点検と情報研修及び情報ガイドラインの検討			情報ガイドラインの作成と情報セキュリティーの研修の継続
情報発信	地域や保護者への更なる情報発信		情報発信の回数を増やし、より広報活動の活性化			新しく開設したホームページ等による情報発信の充実
実習船運航	実習船のスムーズな運行のため運航部の組織編成の点検		課題の掘り起こしと、船側とのスムーズな連携の推進			乗組員の確保と年間運用計画による実習船のスムーズな運行
学年団	基本的な生活習慣確立から進路目標に沿った指導		規律と責任のある行動を指導し、進路意識の定着			基本的な生活習慣の確立と進路意識の早期定着
DCJ	地域貢献を含めて特色ある教育活動事業に取り組む		ものづくりやボランティア活動を通して近隣の学校や老人ホームとの交流			今後も少ない費用でも続けられるようものづくりの工夫が必要